

VI 希少種の保全

<主要施策の取組状況>

1 希少動植物の保全方針・対策と調査モニタリングの検討

- ・希少種のうちツキノワグマについて、人里へ出没した個体の学習放獣を実施しながら、保全手法の検討を行った。また、保全手法検討の資料として、既存の調査データから生息頭数を推計した。
- ・酒匂川水系四十八瀬川においてカジカの分布調査を実施し、一部は絶滅したエリアに持ち上げ放流した。（IV溪流生態系の再生再掲）

2 希少動植物の保護・回復事業の実施

- ・稜線部において植生保護柵を設置し、希少植物の保護を図った。（Iブナ林の再生再掲）
- ・ヤシャイノデについて、幼苗を育成するとともに孢子培養を再開した。

○希少動植物種の保全対策実施状況

希少動植物の保全方針・対策と調査モニタリングの検討	希少動植物の保護・回復事業の実施
<ul style="list-style-type: none">・ツキノワグマについて、人里への出没個体の対応を実施しつつ保全手法を検討。既存の調査データから生息頭数を推計。・四十八瀬川でカジカの分布調査を実施。	<ul style="list-style-type: none">・稜線部において植生保護柵を設置（実績は特定課題Iに含む）。・ヤシャイノデについて、幼苗を育成し、孢子培養を再開。



カジカ分布調査の様子



調査で採取されたカジカ